

クリエイターズセッションナイト 開催しました

つかう、つくる人がつながるところ

クリエイターを通じて知るアート、デザイン&クラフトワーク

クリエイターズ
セッションナイト

「モノ」とはなんでしょう。

私たちは「モノ」を通して、日々の生活でちょっとした幸福感や、喜びを感じられたら、それはとてもすてきなことだと思います。

「つかう人」「つくる人」にとって本当にいいモノってなんだろうか？

そんなことを、人と近い街の宝石屋で、ジュエリーという究極のいらない「モノ」を通して、

ここに集う人たちと一緒に楽しんで、考えていきたいと思っています。

平日の夜に、アートでクリエイティブな時間を、ちょっとだけ寄り道して過ごしていただけたら嬉しいです。

コンテンポラリー・ジュエリーアーティスト、クラフトマン、デザイナーなど、基本はジュエリー制作に関わる人たちをゲストに、トークセッションと実体験ができるイベントを企画していきます。

コンテンポラリージュエリーアーティスト 前田朝黄さんのトークセッション

日本よりむしろアメリカにファンの多い前田朝黄さんの作品。そのエキジビションをシンコーストスタジオ世田谷ショップで、6月14~19日まで開催しました。オープニングとして、前田朝黄さんのトークセッションと、実際に作品を身につけてみるイベント「クリエイターズセッションナイト」が開かれました。



一つ一つの作品に物語が



前田さんの作品は、ボストン美術館、NYのアート&デザイン美術館に収蔵されています。アメリカFIT (NYの美術大学)での卒業制作から、棒人間が生まれたエピソード、そしてそれがNYのギャラリーですぐに売れ、ジュエリーアーティストの道をスタートした話など、とても興味深いお話を頂きました。



彼女の作品には、すべて物語がついています。



例えば、この新幹線のネックレスでは、11:10京都発の「のぞみ」が東京に到着するまでの一車両ごとの様々な人々のストーリーが詰めこまれています。

「新幹線」Silver, K18, アクリル、イエローサファイヤ ネックレス

"Welcome to Shinkansen"
YouTube

一つひとつの作品に彼女の想像力と優しいまなざしが注ぎ込まれていて、YouTubeに上げてある動画は、楽しくて、ワクワク、けれど心のどこかに温かいものが残る作品です。

前田さんには、作品「Welcome to 新幹線」と「シネマ」の動画をプロジェクターで見ながら、解説を頂きました。

前田朝黄 (Asagi Maeda)

東京造形大学彫刻科卒業。GIA (Gemological Institute of America・ニューヨーク) 卒業。
FIT (Fashion Institute of Technology・ニューヨーク) ジュエリー科卒業。
女子美術大学立体アート学科非常勤講師。
国際瀧富士美術賞、zokei 賞、「Exhibition in Print」(メタルスミス誌) 受賞。

実際のジュエリーを皆で試着

その後は、皆で試着会。アートを身につけるなんて、初めての体験です。

でも、着けてみると思ったほど重くない。

アカデミーショーやカンヌ映画祭。ブランドのダイヤなんかつけないで、こういうアートジュエリーを着けてきてきたら、すてきなのにね。というような話をしていました。

